

作成日 : 2026 年 3 月 28 日

離床センサー適正使用に向けて一離床センサー運用フローチャートをカンファレンスのひな型 記録として活用した効果の検証—

研究協力をお願い

この研究は、日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただくずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2025 年 10 月 1 日から 2026 年 1 月 31 日までに日本医科大学千葉北総病院 4 階西病棟に所属していた看護師、および同期間に同病棟に入院し離床センサーを使用された患者さん。

2. 研究の目的

病棟の業務改善として導入された「離床センサーアセスメント記録フォーマット」の運用標準化が、ナースコール呼出負荷の軽減と安全確保（転倒・転落防止）に及ぼす効果を明らかにすることです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学千葉北総病院で実施する単機関研究で、研究責任者は日本医科大学千葉北総病院 4 階西病棟 本郷正典です。2025 年 10 月 1 日から 2026 年 1 月 31 日までの期間におけるナースコール履歴、電子カルテ上の離床センサー設定記録、インシデントレポート、および病棟看護師への意識調査アンケート結果を用いて、取り組みの前後を比較・分析します。研究実施期間は実施許可日から 2026 年 12 月 31 日までです。この研究は、自らの研究機関で必要な研究費を負担して実施するため、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：ナースコール一般呼出回数・応答時間、離床センサー設定の利用時間・緩和状況

転倒・転落インシデント件数、看護師の意識調査アンケート結果など

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない日常業務の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。情報は施錠可能なエリア内に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。患者さんおよび看護師の個人情報が、個人が特定できる形で使用されることはありません。

また、ご本人または代理人の方から、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特

定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先【日本医科大学千葉北総病院 看護部 4 階西病棟 本郷正典】までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学千葉北総病院 看護部 4 階西病棟 本郷正典

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号 : 0476-99-1111 (代表) 内線 : 2887

メールアドレス : asiana0531@nms.ac.jp